

JLAロゴマーク一部改訂について

はじめに

JLAロゴマークのコンセプト

現ロゴマークは、日本ライフセービング協会の前身である日本サーフライフセービング協会と日本ライフガード協会における歩みを忘れることなく、従来のマークをそのまま円の中に残し創られました。

NPO法人として念願の内閣府認証を受け、また国際連盟日本代表機関としての新たな歩み（志）を表すことを象徴とし、水の星「地球」をベースとして、世界を視野に、2分にひとり（当時）の水の犠牲者を減らすという国際連盟設立の趣旨へ、我が日本協会の国際貢献を強く表現したデザインです。

一部改訂にあたって

現ロゴマークを受け継ぎ、基本コンセプトを変えることなく踏襲し、デジタルデータの取り扱いに見合った図式データへ見直すことといたしました。2022年2月の理事会で審議を経て、法人化30周年を機に、一部改訂について公表いたします。2022年度よりおよそ1~2年かけて、順次入れ替えを行います。








一部改訂のポイントとメリット

現在のロゴマーク



新しいロゴマーク



	灰:44.30.27.11
	黒:00.00.00.100
	白:00.00.00.00
	赤:18.94.93.05
	黄:07.03.45.00
	肌:07.03.53.00
	青:94.61.03.00

	C30 : M100 Y100 : K10		C100 : M70 Y0 : K30
	C0 : M15 Y100 : K0		C0 : M0 Y0 : K100

全体の色を鮮やかにしました。地球を模した赤い格子部分のボリュームを縮め、複雑で再現しにくい日本地図を無くし、中央の団体略称である『JLA』のサイズを大きく配置しました。全てのフォントをゴシック体にし、見やすく、団体名表記とセットにした時、統一感が出るようになりました。

●極細線の縁取り、影の省略によるメリット

構成をシンプルにすることで、加工時の工数や確認作業が大幅に減少できる見込み。また不正確な誤表記を減らすことで、ブランドイメージの向上をはかる。

●形の簡素化によるメリット

精緻で複雑な日本地図を削除。制作時の工数や確認作業が大幅に減少できる見込み。また国土の範囲に関する問い合わせを回避できる。

●配色数値の簡素化によるメリット

数値指定を簡素化することで管理を容易にし、印刷工程やチェック工程での効率化をはかる。誰が観てもわかりやすい配色になるので、指示間違いやエラーを見つけやすくなる。

またシンプルで鮮やかな配色にすることで、今後拡大がみこまれるデジタルメディア上でのイメージの向上をはかれる。

新しいロゴマーク

2022年4月1日より運用

